

議会を 傍聴して

三月十二日、「国際ソロプチミストさつま（手塚健子会長）」の会員の方々が、監査質問の模様を傍聴されました。副会長の尾形エイさん（屋地地区）に、会員の感想等を取りまとめていただきましたので、紹介します。

私どものクラブ組織は、薩摩郡内の六か町（宮之城・鶴田・薩摩・祁答院・入来・東郷）の会員で構成されており、今回の宮之城町議会の傍聴は、クラブの勉強会のひとつのテーマとして、計画に入れてあるものです。議会の傍聴が初めての人もあり、議会の雰囲気、行政（執行部）と議会の関係など、それが少しでもわかっただけでもよかったですという声も、会員から聞かれました。



「国際ソロプチミストさつま」の皆さん

すばらしさを生かしての制度であろうと思う終野小学校の取り組み、そしてまた、泊野小学校の「山村留学制度」への取り組み等、とても勉強になりました。特に今回の主な質問は、時間付きの「広域合併問題」。自分ながらに、少子化の進む農村部は、これを将来に向けて、住民に早く、正しく知ってもらうことが大切だろうと思っていました。議員からの質問に、「本年五月末を目途に、住民への説明を終わる」ということなど、行政からの説明や答弁を、しっかりと自分たちのものとして受け止め、知ることができました。また、今後会員みんなで、特に「町村合併」等をテーマとして、女性たちのサイドから感じることを、検討する機会をつくりたいと思ったところです。私たちが目指すものは、将来に向けて、住んでよかったと思う、よりよい地域を創ることです。多くの女

性たちも、議会を傍聴することで、町の動向を、しっかりと知ることができると同時に、男女共同参画や町民参加の行政へとつながっていくのではないのでしょうか。もっと、多くの町民の方が、傍聴していくべきだと感じるところです。

あなたも議会を 傍聴してみませんか！

町議会定例会は、3月・6月・9月・12月に行われます。日程等は事前にお知らせしますので、ぜひ傍聴においでください。

GIKAI

編集後記

現在、祁答院四か町では、合併についての地区別説明会が進められており、このたよりが発行される頃には、大方の意見集約がなされているものと思う。薩摩郡内の七か町で調査・研究した報告書を基に、共通した資料で、住民に説明する取り決めとのこと。

合併に無関心の層も厚いと聞くが、これらの人々をいかにして目覚めさせるか、行政の手腕が問われるところだ。行政職にあるものは、正確な情報を町民に伝え、その判断、選択を待つ。これが民主政治の原則である。

町の将来を真剣に考える町長なら、町の進むべき道を自ら決定し、信念に基づいて行動される。その行動が、今後の町民の将来を決することになる。

今回の説明会で、関係町の合併に対する住民の意識が高まり、大局的見地から、将来に禍根を残さないような結論を期待したい。